

ひの市民活動団体連絡会ニュース11号

平成20(2008)年8月15日
発行：ひの市民活動団体連絡会
代表・梁瀬 悦司
編集：広報部会
〒191-0012 東京都日野市日野 1369-27
Tel / FAX. 0 4 2 - 5 8 1 - 6 1 4 4
E-mail: hino-cagcm@tokyo.email.ne.jp
ホームページ：更新準備中

ひの市民活動団体連絡会ニュース11号をお届けします。今年もアツイですね。これも温暖化？ ☆ ○△□◎ ☆

第6回NPOフォーラム

～職員・市民で協働を模索して～

さる6月22日(日)、生活・保健センターで企画提案ワークショップが行われました。今回は行政の方々が15名(企画課、男女平等課、産業振興課、環境課、みどり清流課、ごみゼロ課、高齢福祉課、保育課、文化スポーツ課、都市計画課、地域協働課)と多くご参加頂きました。これは段々と協働の姿勢が数に表れてきた証で画期的なフォーラムでした。一方市民団体側は12名の参加で、このような企画の意義を考えると、もっと多くの参加が望まれます。

2グループに分かれ情報を交換

当日は行政側と市民団体が混合した2グループに分かれ、ワークショップを行いました。

Aグループは子育て、高齢者福祉関係のグループで、協働の相手とのやり取りがあり、話題をかなり掘り下げて話がなされ、内容が濃いものになりました。

Bグループはそれぞれの持ち場からの発言があり、行政ならではの市民対応の大変さなど、生の声を聞くことができました。市民団体のほうからは、生の情報交換会を通し、提案の継続性を引き続いていくための

要望があり、情報交換会で却下した提案を行政としてどうフォローしていくのか、その対応する姿勢を持ってほしいとの発言がありました。

このように行政と市民団体が同じ席に着き、よりよいまちづくりはどうやっていけばいいのか、それぞれの立場とそのネットワークで、その得意分野の知恵を出し合うことは、単体の市民団体では出し切れないまちづくりをめざすためには必要不可欠なことと言える実感しました。

市民団体は既存の組織ではできないことを新たに生み出すた



めに、その価値を発揮していこうとしているのですから、支援する立場の行政は<後追い行政>ではなく、ぜひ<後押し行政>の頼りになる味方の存在でいてほしいと心より願っています。

(広報部 落合裕子)

「平成20年度の主要事業」勉強会

6月1日、日野市企画部企画調整課村田課長、石川副主幹と地域協働課原島さん、高橋さんを迎え、6月22日のワークショップに活かすため以下内容の勉強会を開いた。

- ・ 国、都の補助金をうまく使えると事業を起ししやすい。タイミングが重要。
- ・ CO2削減をテーマに何ができるか?
- ・ 毎年1月には、次年度の主要事業を庁内としてまとめ、3月議会で予算の裏付けを取る。そのため、9月から各主管で事業計画を作っていく。

- ・ 項目別主管課のリストの提供について。
- ・ 今後10年の人口推移の「新子ども人口推計」をホームページで見られる。
- ・ 旧平山台小は健康市民支援センターに。
- ・ 旭が丘中央公園に旭が丘交流センターを計画。
- ・ 多摩平下水処理場跡地に複合施設計画を検討。
- ・ 地域コミュニティ再生事業として、高齢者・子ども会・自主防災などを展開する。
- ・ コミュニティカフェの提案先は地域協働課で、企画調整課、産業振興課と連携していく。
- ・ その他、名称だけでは分かりにくい事業もあった。

(梁瀬悦司・記)

6/15 の公園清掃の様子と堆肥について

6月15(日)、連絡会主催でねんも公園の除草を行いました。今回の参加者は13団体19名。照りつける太陽の中、首にタオル・帽子に軍手姿で草刈り鎌とごみ袋を手ち、雑草と格闘しました。(写真:草刈りを終え軽ダンプの前で休憩)

今回は、運営部
会が設置した堆肥
置き場が一杯にな
ったため、初めて
堆肥を出す作業を
行いました。堆肥
置き場は、青草や
落ち葉、隣接する
支援センターから



出る生ごみを投入する目的で作ったのですが、平成19年4月、支援センターが日野(旧・東町地区)に引っ越したため、その後は青草や落ち葉のみの堆肥となりました。

堆肥置き場には毎回の除草時にあふれるほど青草が入ったのですが、1ヶ月もすると底に沈んでしまい、3年でようやく一杯になりました。堆肥の管理は特に行わなかったのですが、約1.5mに堆積した堆肥は底にいくほど黒くなり、土壌分解生物(ダンゴムシ・ゴキブリ・ハサミムシ・ゲジゲジ・ムカデ・ミミズ等々)がたくさん出てきました。忌

HPに先立ちブログを開設

ひの市民活動団体連絡会広報部会では現在ホームページの作成をしています。それに先立ち参加団体いち早く情報を伝えるためにブログを開設しました。

Yahoo !!「ブログ」で「ひの市民活動団体」を見ることができますが、メール(kubo@mail.hinocatv.ne.jp)でお問い合わせを。また、各団体のイベント情報などもお寄せ下さい。(広報部 久保寿一)

み嫌われる虫たちほど、世の中の汚いものを浄化して良い土に戻してくれているんだと感じさせてくれます。お菓子の袋等のごみや木の枝は、そのままの形で残っていました。堆肥として畑に入れるには困りますので、これらのものが混入しないように次回から注意する必要があると思いました。

堆肥は、軽ダンプ車で3回に分けて運搬し、私の畑まで運びました。後日、夏野菜の根元に堆肥をそのままかぶせてマルチングしたのですが、土がフワフワになり野菜の根張りもよく、収穫も例年より多いようです。

草や落ち葉は最高の堆肥になります。しかしこの宝の山はほとんど焼却炉で燃やされているのが現状です。ごみ減量ができてミネラルたっぷりの美味しい野菜ができる、草と落ち葉の活用方法が、もっと広がるといいな考えています。

(ひの・まちの生ごみを考える会/佐藤美千代)

★★ ひの市民活動団体連絡会主催

金曜サロン報告 ★

金曜サロンの報告は『連絡会ニュース』第8号でお伝えしただけですが、その後は以下の通りです。

- ・第2回は11/30、「日野のまつりと市民とのかかわり」(日野市まちづくり部産業振興課課長石本弘一郎さん)
- ・第3回は12/21、「日野七福」(日野市教育委員会文化スポーツ課文化財係金野啓史さん)
- ・第4回は1/25、「日野の今昔」(日野の移り変わりを伝える会山本克治郎さん)
- ・第5回は2/29、「遺言の書き方」(ファイナンシャルプランナー・多摩FP所属小松久男さん)
- ・第6回は3/28、「地域デビュー」(NPO法人福祉カフェテリア湯口裕さん)
- ・第7回は4/25、「介護のイロハ」(NPO法人日野福祉の学校川松ゆりさん)
- ・第8回は5/30、「お葬式のイロハ」(セレモアつくば中島重夫さん)
- ・第9回は6/27、「お墓のイロハ」(前回に同じ)
- ・第10回は7/25、「子育て支援はまちづくり」(NPO法人日野

子育てパートナーの会畑山富子さん)でした。

今後の予定は、

- ・第11回が9/26、「未定」
- ・第12回が10/31、「未定」

各回の出席者は10名前後で、かなり実のある話を聞いたと思います。『広報ひの』の案内、近隣の自治会への回覧、連絡会の『イベントニュース』などでお知らせしていますが、聴衆が余り集まらないので、第10回は地域協働課を通じ市内の幼稚園、保育園に掲示も頼んでみました。

内容としては、第8回の「お葬式のイロハ」と第9回の「お墓のイロハ」では、購入についての注意点、お墓についての考えかた、費用について、もしものとき心得ておくべきことや、葬儀・墓石の費用のほか、一般的なマナーについても話されました。一般の方も参加され、具体的な質問をされていました。仏教情報センター(03-3813-6577)で無料相談を、平日受けているとのことでした。(梁瀬悦司)

○▼□参加団体活動紹介○▼□

◎NPO市民サポートセンター日野

はじめての“新選組まつり”出店

市民サポートセンター日野は、日野市女性社会事業協会から移行した団体で子育て、家事援助など、高齢者や妊産婦などの支援を事業としていますが、多摩平の森ふれあい館の施設運営に関する事業を日野市からの委託を受けて行っています。館内にコミュニティカフェがありますが、その運営も行っています。

地域のくらしを豊に彩る事業も掲げています。その関係で4月半ばに新選組のふるさと歴史館から、当NPOへ「新選組まつり」の出店依頼がありました。急遽、NPO事務局職員でプロジェクトチームを作り、参加準備へ突入。おそろいのロゴTシャツを着て気合十分(!?)で、5月10日(土)、11日(日)の新選組祭りを迎えました。雨の中でのカフェの準備からスタート。はじめての経験でちょっぴり不安ながらも「誠コーヒー美味しいですよ!」と来館者におススメし、新選組のふるさと歴史館らしい『お休み処

選之介』になりました。メニューは、誠コーヒー(有機)、ケーキセット、歳三うどん、誠フランクフルト、焼き芋で、雨にも関わらず、全商品完売となりました。ふるさと歴史館からは、出店効果で人が集まり入館者数が昨年より増えたと喜びの言葉をいただきました。

当NPOにとっては、市民の方々をはじめ遠方からいらっしゃった入館者との交流、また各事業部門スタッフの参加で交流が図れた…等々、地域貢献プラスαの得がたい経験が出来ました。



薦めたい一冊の本『夢をかなえる象』

『夢をかなえる象』という本が売れているとのこと。筆者も早速読んでみた。市民活動に携わる人たちには共感する所が多いと思う。一読をお薦めしたい一冊だ。

ガネーシャと言う、頭は象、身体は人間の形をしたインドの神様が、今の自分を変えて成功したいと夢に描くサラリーマンの家に上がり込む。サラリーマンは関西弁の神様と[夢を現実のものとするため毎日一つずつ出す課題を実行する]という契約を結ぶ。



その日から出された課題は、例えば、出かける前に靴を磨く、トイレ掃除をする、コンビニで釣り銭を寄付する、食事を腹八分目に抑える、身近な一番大切な人を喜ばせる、その日頑張れた自分をホメる、などなど。

誰でもできそうなことばかり。しかしこれを一つずつ実行して行くことによって自分を大きく変えることができると説く。

松下幸之助が若い頃誰より早く出勤してトイレ掃除をしたこと、アメリカの石油王ロックフェラーは若い頃から収入の1割を寄付することを習慣としていたことなどのエピソードを交えながら語られる。

人を喜ばせることによって自分が人から支えられ、夢をかなえることができるということらしい。ガネーシャとの契約を果たした若者はその後世間に知られる人物となったらしい余韻を残して筆が置かれる。

(湯口 裕)

『夢をかなえる象』水野敬也著
／飛鳥新社／定価1600円＋税

連絡会がよさこいまつりに参加

市民活動団体連絡会を知ってもらうために、日野市のまつりやイベントなどに参加しています。ブログで紹介しましたが、右写真はよさこいまつり出店風景。8月23～24日のアートフェスティバルにも出店予定です。



地域協働課から

市長とふれあいトーク

今回は地域協働課が関係する業務として「市長とふれあいトーク」をご紹介します。

今年度の主要事業として市民相談室を中心に市長公室、企画調整課、地域協働課が協働して「市長とふれあいトーク」を開催しております。ふれあいトークは日野市第4次基本構想・基本計画「日野いいプラン2010」に基づき、市民の声を市政に反映させるため、市長が直接、地域の方と懇談するもので17小学校区ごとに開催しております。

ふれあいトークの冒頭では今年の日野市のメインテーマ「みどりの大地 青い地球を いつまでも」に関連して「ふだん着でCO₂を減らそう」事業についてPRさせていただいております。この事業は、家庭でのCO₂排出量が増

大している事に伴い、家庭で気軽にできる温暖化対策(白熱球を蛍光灯に交換する等)を行っていただくというもので、日野市と各家庭や団体と協定を結んで進めていくものです。また、ふれあいトークが地域別に開催していることもあり、その地域に関連する情報もあわせてご紹介させていただいております。

ふれあいトークのメインである懇談部分では、市長と直接、市民が懇談できる場として、市民の皆様が日頃不安に感じている事や市へのご意見など、忌憚ない意見交換が行われております。

ふれあいトークの日程は6～7月、9～11月となっております。前期の6～7月は終了しましたが、後期は9月から開催されますので、皆さん是非ご参加ください。(日程・場所は広報8月15日号に掲載しております。)

◆◆事務局だより◆◆

* 会員団体の状況

7月7日 日野団塊世代広場 (代表 辰巳 進) が新しく入会しました。=現在、30団体

* 事務局の電話使用の注意

地域協働課長より、アナログ電話が傍受され易いので個人情報漏洩防止注意の文書による連絡がありました。

事務局にある電話は今までどおり使用できますが、本体の受話器を使用してください。

* 明星大学ボランティアセンターへの登録

ひの市民活動団体連絡会で明星大学ボランティアセンターに登録を行い、連絡会が参加する「お祭り」などの催事にボランティアとして支援していただくほか、会員の皆様からの要望により、ボランティアセンターからその団体へマンパワーが届く様に事務局で手続きを行います。



* 利用日誌の記入を忘れないで!

支援センター利用時には、玄関中扉のところに置いてある利用日誌に団体名、人数などの諸欄と、お帰りの点検欄を記入していただくことになっております。

コピー、印刷だけの場合も、利用日誌を忘れずに記入して下さい。

(事務局：山本・山崎)

多摩の魅力再発見! タマケン!

現在、「多摩地域 FC パネルキャラバン」を行っている NPO 法人日野映像支援隊/の中川節子さんから「タマケン」の紹介がありました。(詳細略)

- 1、検定日時：2008年10月26日(日)10:00-11:45
 - 2、検定料：3級3,150円(税込)※今年は3級のみ実施
 - 3、出題内容：自然、地形、歴史、遺産、産業、文化等多摩地域に関すること全般から出題。択一式
 - 4、出題形式：「多摩武蔵野検定公式テキスト」から80%を出択一式100問以内。70点で3級合格と認定
 - 5、合格特典：①多摩地域の大学図書館が利用可能!他
- 詳しくは… 多摩・武蔵野検定 事務局まで。

URL: <http://www.tamakentei.jp>

Tel:042-524-9577(土日祝除く 10:00-17:00)

インフォメーション：左写真は玄関前ののぼり旗です。訪れたとき見て下さい。市民活動団体の活動紹介は、別紙「イベントニュース」に掲載します。

編集後記 ひの市民活動支援センターの前にあるのぼり旗にお気づきですか?ひの市民活動団体連絡会ののぼり旗です。暑い日も雨の日も元気に活躍しています。今年度は日野市内のいくつかのイベントに「連絡会」として参加する予定です。ブルーの地に白の文字のさわやかな旗を見かけたらぜひお立ち寄りください。(本田)